

資料3

(仮称)茶臼山スケートパークの 設置について

スポーツ部 スポーツ課

若者のスポーツ離れが指摘される中で、アーバンスポーツ（都市型スポーツ）への関心の高まり

- ・従来のスポーツの枠に縛られない遊びの要素
- ・東京2020オリンピックが大きな契機

すでに廃止している茶臼山プール跡地の有効な活用方法の模索

こどもや初心者を中心に、スケートボードだけに限らず、誰もが気軽に利用できる施設を整備

北レクアクションスポーツ広場の利用者が増加
その一方で、スケートボードやインラインスケートなどを安全に利用できる場所の不足
(現在は2つの運動公園駐車場の開放で対応)

クラブ等のスケートボード活動場所の不足
不足する環境をカバーするため、複数の用途に利用できる施設を確保していく必要

茶臼山スケートパークの整備を通じて、アーバンスポーツを加えたスポーツの
すそ野の拡大による市民のスポーツ実施率の向上を目指していくもの

- ・ こどもや初心者に加え、中上級者の練習、スポーツクラブの活動場所などにも使える施設として整備
- ・ 施設を安全に利用できるように、利用者のレベルや利用方法に応じて3つのエリアを設定

●東エリア（旧幼児プール）



スケートボード滑走用に整備した
コンクリートセクションエリア
(初級～)

●北エリア（旧50mプール 北半分）

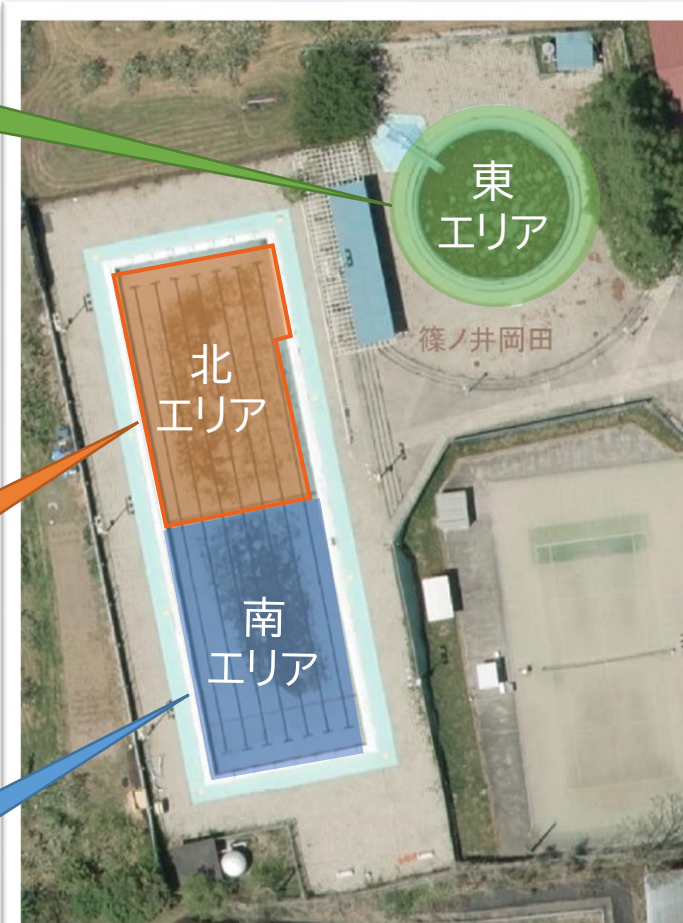


スケートボード滑走用に整備した
コンクリートセクションエリア
(中～上級)

●南エリア（旧50mプール 南半分）



プール底をそのまま残したエリア
スケートボード等に限定せず、
多様な利用が可能



時 期	内 容
令和6年9月	市議会9月定例会 長野市営運動場条例等の改正
令和6年10月	供用開始（予定）